



日進北小だより

令和元年12月2日

第8号

TEL 048-663-1842

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する

年の瀬

校長 宇佐見 弘幸

11月20日(水)、番場公園をお借りして、持久走記録会を実施しました。1周500mのランニングコースを1・2年生は1周と100mで600m、3・4年生は1周と300mで800m、5・6年生は2周で1000mを走りました。インフルエンザの流行や、お天気で実施するかどうかを悩む年もありましたが、今年は、少し風は吹いていたものの良いお天気に恵まれました。会場では、とてもたくさんの方々に応援していただきました。児童は、応援に背中を押されながら、一生懸命走ることができました。役員の方々には学校から公園までの沿道の安全を見守っていただくなど運営を支えていただきました。地域の皆様には、公園の使用について、ご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。

12月に入りました。私は、出身が旧浦和市です。子どものころは、12月がとても楽しみでした。それは、旧大宮市と旧浦和市に大きなお祭りがあったからです。12月10日に「十日市(とおかまち)」があります。大宮駅の東側、氷川神社周辺で行われます。氷川神社は各地にありますが、この氷川神社は「武蔵一宮」です。余談になりますが、横浜の山下公園に係留されている日本郵船の「氷川丸」は、氷川神社から名付けられたそうです。「十日市」は神社の神事に合わせて行われる「酉の市」です。「酉の市」は本来11月の「酉の日」に行われるものですが、氷川神社では毎年12月10日としているそうです。

「十日市」が終わると次は12月12日の「十二日まち(じゅうにんちまち)」です。浦和駅近くの「調(つき)神社」(旧浦和市民は「つきのみやじんじゃ」と呼びます)で行われます。この神社は、いくつかの不思議がある神社です。その一つに神社のシンボルである鳥居がないということがあります。さらに、狛犬の代わりに兔が置かれています。諸説があるようですが、平安時代の税である租(米)庸(労役)調(貢物)のうち調を納める倉庫があって、搬出入の妨げにならないように鳥居を作らなかったと伝えられているそうです。また、当時は月と人々の生活とのかわりが強かったことから、月の動物といわれた兔が飾られたと伝えられているそうです。「十二日まち」は「大歳の市」で年の暮れに、新年の飾り物やお正月用品を売るために行われたのが始まりだそうです。

たくさんのお店が並ぶお祭りは、子どものころの私にとって大変魅力的で、わずかな小遣いを握りしめて、わくわくしながらいろいろなお店を見て回ったことを思い出します。浦和に住んでいたので、「十二日まち」に行くことが多かったのですが、年によっては「十日市」と「十二日まち」の「はしご」をしたこともあります。今年は、久しぶりに帰宅時に途中下車して、「はしご」を試してみようかと思っています。

二つのお祭りが終わると、いよいよ今年も年の瀬を迎えます。令和元年は皆様にとってどんな年だったのでしょうか。年の瀬は、世間が忙しくなります。お子様の安全については学校でも指導しますが、ご家庭でもご指導をお願いします。この一年も保護者の皆様、地域の皆様にご世話になりました。心より御礼申し上げます。